

中国 5 県における発災時の相互支援体制構築に向けた
地域の支援団体育成・強化事業
公募結果

■ 概要

選考結果	採択
団体名	一般社団法人 レベルフリー
代表者名	坂本 京子
申請事業名 主題	災害時の多様性に配慮した「やさしい避難所」を考える事業
申請事業名 副題	様々な事情を抱えた方が安心して避難所に避難できるしくみづくりを、避難所を運営する地域住民と一緒に考える
エリア／テーマ	【山口県】 A コース:地域内ネットワーク構築枠
解決すべき社会課題	災害支援事業 2)日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動 ⑤孤独・孤立や社会的差別の解消に向けた支援 3)地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動 ⑧安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
申請事業の概要	以下に掲げる3つのプロジェクトを実施。 ①アレルギー配慮の炊出しセットの開発 これまで研修や炊出し訓練、炊出しメニュー開発、冊子の作成を行ってきました。今後は私達の手を離れても、誰もが配慮の手助けができる持続可能なツールの開発に取り組む。 スーパー、調理士、栄養士、アレルギー当事者を交えたチームをつくり、炊出しメニューとレシピ、調理や配膳のポイントを書いた虎の巻、避難者に向けた掲示ポップ、使用する調味料をセットにした商品を開発する。併せて、調理士に呼びかけて炊出し調理支援チームを作り、県や市町の防災訓練やイベントで炊出しを実施して、災害時のアレルギー配慮の大切さを啓発する。開発は大型スーパーと連携することで、将来的には全国に展開できるようにする。 ②外国人に「やさしい避難所」の運営を考える 外国人労働者、地域住民、通訳、行政と一緒に、言語や文化の違いを学びながら交流を深める防災体験研修会を実施する。その後、実際に避難所を使用して、避難所運営訓練とハラールの炊き出しを行う。活動の内容を取りまとめた「やさしい避難所～外国人編～」を作成する。 ③ペット避難に「やさしい避難所」の運営を考える ペットの飼育者、地域住民、獣医、ペット関係団体(トリミングやしつけなど)、行政と一緒に、災害時のペットをどうするかを考える。 いろいろな考えや立場を理解し合い、歩み寄るためのワークショップを重ねる。実際に避難所を使用して、避難所運営訓練(車中泊訓練も同時に)を実施する。活動の内容を取りまとめた「やさしい避難所～ペット編～」を作成する。
事業実施地域	山口県
申請事業期間	(開始月)2023 年 10 月～(完了月)2026 年 3 月
申請助成額	12,600,000 円

	【内訳】直接事業費 11,012,000 円、管理的経費 988,000 円、評価関連経費 600,000 円
--	---

■ 審査コメント

- ✓ 現時点では、団体自身の WEB サイトやホームページを持っていないことが気になる。
- ✓ 計画している事業の中にはツール開発やその販売がうたわれているが、その手の取り組みを実践する際には広報はより大事になってくると思われる。
- ✓ 今回のような取り組みが継続的に行えるようになるためにも、または自団体の組織的な持続性を図るためにも、広報や情報発信の拠点を持つことについて是非見直しをしていただきたい。
- ✓ 昨年度に立ち上げられたばかりの団体ということもあり、資産がないように見受けられる。
- ✓ 休眠預金のしくみとして、必ず自己資金が求められてくる。財源基盤が固まっていないなかで、実際に自己資金が調達できるかどうか気になった。
- ✓ 今回採択されたら、組織や活動の継続性、特に財政的な持続性に留意して、事業計画や資金計画をブラッシュアップする際に資金分配団体からよくフォローしてあげてほしい。
- ✓ アレルギー食への対応という事業内容は、ニーズがあると思う。
- ✓ 「外国人在住者」や「ペットを飼う家族」に関しても、行政サービスによる支援では零れ落ちそうな災害弱者への支援を民間が行おうとしていることは、評価できる。
- ✓ たとえば鳥取県エリアでは今回の休眠事業をめぐって「動物との共生」に特化した団体もあるので、
場合によっては事業連携を図ってもよいのでは？
- ✓ 事業内容の一部については、関連コンテンツをゼロから作り上げていくのか、自団体や他組織ですでにあるものを活用する（できる）のか、検討できるものがあるように思われる。既存のものや外部リソースをうまく活用できると事業効果も高まるかと思うので、検討されたい。
- ✓ 事業の実行力は問題ない。今後さらに広がりがもてるかどうか心配。
- ✓ 提出書類を見た限りでは、団体の社員や役員などのメンバー間で同じ苗字の人物がいるようで、利益相反などのガバナンス面で少し気になった。
今後、関連規程を策定する際には、資金分配団体からアドバイスをもらってほしい。

⇒ 【補足】

審査会后、実行団体にその旨をチェック。

実行団体いわく、たまたま同姓の人物で重なった次第で、当人間に親族の関係性はない、とのことだった。ただし、今後は以前にも増してガバナンス面での配慮や規程の遵守が重要となるだろうから、十分注意したいとのことだった。